

令和元年六月射水市議会定例会

# 市長提案理由説明要旨



令和元年六月射水市議会定例会の開会に当たり、提出いたしました案件の説明に先立ちまして、一言申し上げます。

## はじめに

去る五月一日の天皇陛下のご即位に伴い、新たに「令和」の時代が始まりました。

ここに、天皇陛下のご即位に心からお祝い申し上げますとともに、天皇皇后両陛下のご健勝と皇室の弥栄を心からお祈りいたします。

新たな元号である「令和」は、わが国最古の歌集である万葉集から引用され、歴史上初めて国書を典拠とする元号となったものであります。また、「令和」という言葉には、厳しい冬の寒さに耐えた梅が春の訪れとともに咲き誇るように、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育ち、一人ひとりの日本人が明日への希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせることができるようにという願いが込められているとのことです。

本市では本年度、「総合計画後期実施計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「都市計画マスタープラン」をはじめとした、本市の今後のまちづくり・ひとづくりに関する計画の策定や見直しに取り組むこととしております。本市の将来を見据え、市民の皆様と課題を

共有し、アイデアを出し合いながら、市民の皆様が明日への希望とともに大きな花を咲かすことができるよう、魅力あふれるまちづくりを進めてまいります。

## 一 最近の経済情勢について

次に、最近の経済情勢について申し上げます。

内閣府が発表した五月の月例経済報告によりますと、景気は輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかに回復しており、先行きにつきましては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあつて、緩やかな回復が続くことが期待されるとしております。しかしながら、通商問題の動向が世界経済に与える影響に一層注意するとともに、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるとされております。

こうした状況の中、国においては、デフレからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政健全化の双方を同時に実現していくため、「経済財政運営と改革の基本方針二〇一八」等を着実に実行するとともに、全ての世代が安心でき、活躍できる「全世代型社会保障制度」を実現するため、労働制度をはじめ制度全般の改革を進めるとしております。また、十月に予定

されている消費税率の引上げを控え、経済財政運営に万全を期すとしております。

とりわけ、総合的な少子化対策を推進する一環として幼児教育・保育を無償化するための改正子ども・子育て支援法が今通常国会において成立したところであり、子育て世帯の経済的負担の更なる軽減を図ることによる、少子化対策としての効果を期待するものであります。

本市といたしましても、今定例会において、このたびの国の無償化に係る補正予算案を計上しており、本年十月から遅滞なく実施できるよう準備を進めてまいります。

## 二 地方創生について

次に地方創生について申し上げます。

先般、国から地方創生推進交付金の採択を受けた「高齢者と観光客が融合するまち「射水」創造事業」に着手するため、その事業費について、今定例会に補正予算案を計上しております。

この事業は、新高岡駅をはじめとした近隣の新幹線駅と旧新湊庁舎跡地に整備する公共交通ターミナル、そして本市の陸の玄関口である小杉駅を結ぶ周遊バスの運行により観光客を誘導し、交流人口の拡大による地域活性化を目指すほか、内川周辺において電動カーを活

用し、移動時の利便性の確保や地域の高齢者の外出機会を創出することとしております。加えて、新たな観光ルートやアプリケーションの開発、地域資源の掘り起こしによる新商品の開発及び創業者支援など、ソフトとハードの両面から地方創生を推進してまいります。

### 三 市政の取組状況について

次に、最近の市政の取組状況について申し上げます。

子ども・子育て支援の推進につきましては、本年度子ども・子育て支援法に基づく「第二期射水市子ども・子育て支援事業計画」を策定することとしており、昨年度実施したニーズ調査の結果を分析し、課題の整理を行うとともに、子ども・子育て会議の内容等を踏まえ、新たな事業計画を策定してまいります。

保育環境の整備につきましては、旧新湊中学校跡地において社会福祉法人射水万葉会が整備を進めております認定こども園「新湊うみいろこども園」の来年四月の開園に向け、引き続き支援をするほか、小杉西部保育園の給食室ドライシステム化等の改修工事へ支援してま

まいります。

学校教育の充実につきましては、来年度からの新学習指導要領の全面実施に向け、児童生徒が校舎内の場所を問わずにICT機器を活用した学習ができるよう、昨年度の小学校に続き、中学校の無線LAN整備に着手するとともに、児童生徒用のパソコン、大型モニター等の整備にも着手し、小中学校におけるICTを活用した学習活動の充実を図ってまいります。

教育施設の充実につきましては、昨年度着手した小中学校の普通教室等への空調設備整備の早期完了を目指し鋭意努めるとともに、先ごろ国の交付金の内示を受けた歌の森小学校及び小杉南中学校の大規模改造工事、大門中学校長寿命化改良工事に引き続き取り組み、児童生徒の学習環境の向上を推進してまいります。

生涯学習活動の推進につきましては、本年度の新規事業として、子どもや保護者などを対象に本市の教育基本理念であるたくましく生きる子どもの育成、さらに子どもの能力や個性を伸ばす親子の良好な関係づくりを目的として、「親子で学ぶ論語塾」を実施しているところ  
です。

第一回の塾では、市内のスポーツ少年団で活動している団員とその保護者や指導者約二百二十人にご参加いただきました。また、八月四日には希望する市内の小中学生とその保護者を対象に、中央公民館において第二回の塾を開催することとしております。

スポーツ・レクリエーションの推進につきましては、去る四月二十一日、「射水市スポーツフェスタ総合開会式」を新湊アイシン軽金属スポーツセンターにおいて開催し、市内のスポーツ関係団体九十二団体、約八百人の選手及び関係者にご参加いただき、本年のスポーツイベントの幕開けとなりました。今後展開される熱戦に期待するものであります。

先月十二日には、「グリーンパークだいまん相撲場において、今回が第一回目となる「全日本相撲個人体重別選手権大会」が開催され、全国から集まった精鋭の気迫あふれる取組を身近に観戦することで、市民がスポーツへの関心を一層高める絶好の機会となりました。

また、今月十四日から三日間、新湊マリーナにおいて第四十四回北信越高等学校ヨット選手権大会が開催されます。出場される選手の皆様には、日ごろの練習の成果を遺憾なく発揮されますよう祈念いたします。

高齢社会対策の推進につきましては、本年十月の消費税率の引上げに伴い、六十五歳以上



の第一号被保険者で低所得者の介護保険料について軽減を強化し、経済的負担を抑えることとしております。引き続き必要な介護サービスを安心してご利用いただけるよう介護保険事業の円滑な運営に努めてまいります。

観光の振興につきましては、先月十九日に本市の代表的なイベントの一つである「第四十一次回越中だいもん凧まつり」が開催されました。地域や企業の方々が多く参加され、来場者の皆様に大空に舞う色鮮やかな大凧の競演を楽しんでいただきました。

先月二十三日から二十六日までの間、富山県において日台観光サミットが開催され、本市におきましては、内川や海王丸パーク、新湊きつときと市場を訪問していただきました。さらに、県及び呉西六市と連携し、夕食交流会を開催するなど、本市の魅力の発信に努めたところですが、今後も、台湾をはじめとした外国人観光客の誘客促進に取り組んでまいります。

国内外交流の推進につきましては、このたびの日台観光サミットの機会を利用し、先月二十四日に台北市士林区との友好協定に関する覚書の仮締結式を執り行いました。今後は、来月初旬に予定する本締結に向け、協議を進めてまいります。

港湾機能の整備促進とみなとまちづくりにつきましたは、船舶の大型化に対応し、荷役の効率化を図るため、富山新港中央ふ頭再編整備事業が、本年度の国の新規事業として採択され、整備に着手されることとなりました。引き続き、国をはじめ関係機関に対し早期完成を要望してまいります。

商工業の振興につきましたは、本年四月の射水市中小企業・小規模企業振興基本条例の施行に伴い、中小企業や関係機関との連携、そして市民の皆様の協力のもと、地域経済の活性化に努めてまいります。

また、十月の消費税率の引上げの影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起するため、低所得者や子育て世帯を対象とするプレミアム付商品券を、九月二十四日から販売いたします。商品券は、来年二月末まで市内取扱店舗で利用できることとしており、その詳細につきましたは、順次、市報等で市民の皆様にお知らせしてまいります。

農業の振興につきましたは、昨年、いみず野農業協同組合が設置した「もみ殻循環施設」におけるもみ殻を資源として活用する取組が、去る四月にパリで開催された経済協力開発機構（OECD）の国際会議において環境に負荷をかけない先進施設として紹介され、参加者

の注目を集めました。さらに、先月には農林水産省の食料・農業・農村白書に優良事例として紹介されるなど、本市の「もみ殻循環プロジェクト」の取組が国内外で評価されていることを実感しております。

森林・林業の振興につきましては、今通常国会において森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律が成立し、本年度から森林環境譲与税が譲与されることとなりました。

本市といたしましては、この譲与税を活用し、今後の森林の整備や保全に係る事業に要する費用に充てることを目的に、新たに基金を設置するため、今定例会において「射水市森林環境保全基金条例」(案)を提出しております。

防災・減災対策の推進につきましては、先月十五日に本市と射水市社会福祉協議会、射水青年会議所の三者による「災害時における協力に関する協定」を締結いたしました。今回の協定は、災害時において市と社会福祉協議会が設置する災害救援ボランティア本部の運営に対し、射水青年会議所からご協力いただけるものであり、これにより、体制の強化が図られるものと期待しております。

地域における防災力の向上につきましては、先月十八日に庄川左岸の大門カイトパークにおいて、庄川・小矢部川総合水防演習が実施され、水防工法演習や地域住民と関係機関が一体となった実践的なシナリオに基づく訓練などが行われました。来る八月二十五日には、水戸田地区において市の総合防災訓練を実施する予定としており、災害時における関係機関との連携や対応などの訓練を通じ、本市の防災力の向上と災害に強いまちづくりを推進してまいります。

また、国の避難勧告等に関するガイドラインが本年三月に改定され、避難勧告等の発令にあわせて、五段階での警戒レベルの運用が出水期である今月から全国で開始されております。万一の災害発生に備え、迅速で的確な避難ができるよう市報やホームページ等で周知・啓発に努めてまいります。

消防・救急体制の充実につきましては、新湊消防署配備の泡原液搬送車一台と射水消防署配備の救急車一台を更新し、消防力の維持・強化を図ります。

消防団の維持活性化につきましては、老朽化が著しい消防ポンプ車二台を更新するとともに、計画的に消防団屯所の整備を図り、地域消防力の強化に取り組んでまいります。

信頼される市政の推進につきましては、旧下庁舎内で行っていた下地区センター業務を四月一日から下村交流センター内に移転し、引き続き地区窓口業務の機能確保に努めたところであります。

また、七月一日からは、コンビニエンスストア等に設置されている多機能端末機を利用した証明書の交付サービスの推進を図るため、マイナンバーカードを利用したコンビニ交付で取り扱う証明書について、一通又は一件当たり百五十円を免除することといたしました。引き続き、利便性の高い行政サービスの提供に努めてまいります。

健全な行財政運営の推進につきましては、将来にわたり健全で持続可能な行財政基盤を堅持するため、第三次行財政改革大綱及びその実行計画である第三次行財政改革集中改革プランの取組結果を検証し、新たな行財政改革大綱の策定を進めてまいります。

旧新湊庁舎跡地の活用事業につきましては、複合交流施設及び公共交通ターミナルの実設計がほぼ完了し、来月中の工事着工に向けて準備を進めており、今定例会において、施設内の配置や機能等について具体的にお示ししたいと考えております。

なお、来る八月三日には、高周波文化ホールにおいて、本施設の整備と地方創生推進交付

金を活用した事業との効果的な連携による、新たな新湊地区のまちづくりを考察するシンポジウムを開催することとしており、多くの市民の皆様にご参加いただきたいと考えております。

#### 四 提出案件について

次に、本日提出いたしました案件の概要について申し上げます。

まず、一般会計補正予算について申し上げます。

今回の補正は、本年十月から実施する幼児教育・保育の無償化に係る経費のほか、地方創生推進交付金を活用して実施する「高齢者と観光客が融合するまち「射水」創造事業」や放課後児童クラブの安全対策に係る経費等を追加するものであります。

補正額としましては、二億九百三十三万九千円を増額し、予算総額を四百三十三億五千四百三十三万九千円とするものであります。

特別会計につきましては、介護保険事業特別会計において、第一号被保険者で低所得者の保険料の軽減強化を図るため、歳入において、保険料三千五百九十七万五千円を減額し、繰

入金についてその同額を増額するものであります。

次に、予算以外の議案について申し上げます。

条例議案としましては、「射水市森林環境保全基金条例の制定について」など十一件を提出しております。

条例以外の議案としましては、「射水市斎場新築（建築主体）工事請負契約について」など十四件を提出しております。

報告案件につきましては、地方自治法第七十九条の規定による専決処分や継続費繰越計算書などについて報告するほか、地方自治法第二百四十三条の三第二項の規定により、「市の出資等に係る法人の経営状況に関する説明書」を提出しております。

以上が、本日提案いたしました案件の概要であります。

何とぞ、慎重審議の上、議決賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。